

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに、中部飼料株式会社 第78期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業の概況をご報告申しあげます。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

代表取締役社長 平野 晴信

Q 第78期中間期の事業環境と業績についてお聞かせください。

A 飼料業界におきましては、外国為替相場が円安基調で推移し、2024年年初以降下落基調で推移していた主原料のとうもろこし価格が春から上昇基調に転じました。このような状況を反映して、当社は配合飼料価格を4月に値下げ、7月に値上げしました。一方、上昇基調にある飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価が今期さらに上昇するなど、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは持続的な成長を実現するため、2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2024」を策定し、飼料セグメントの収益力向上と規模拡大、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を推進してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高1,034億45百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益21億86百万円（前年同期比221.0%増）、経常利益24億31百万円（前年同期比157.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益18億5百万円（前年同期比136.2%増）となりました。

Q 第78期の通期見通しについてお聞かせください。

A 第78期の通期見通しにつきましては、売上高2,090億円（前期比10.8%減）、営業利益42億円（前期比6.8%増）、経常利益46億円（前期比3.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益34億円（前期比2.2%増）を見込んでおります。

Q 第78期の株主還元についてお聞かせください。

A 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策の一つと考え、安定配当を維持向上させることを基本に考えております。持続的な成長を支える成長投資や設備投資、内部留保とのバランスをとり、純資産配当率（DOE）の段階的な引き上げを実施し、「中期経営計画2024」の最終年度である2027年3月期にDOE 3%以上を目指します。また、株価水準や財務状況等を勘案して自己株式の取得をより機動的かつ積極的に実施することで、資本効率の改善と株主の皆様への還元を図ります。

この基本方針に基づき、第78期の中間配当金は1株につき25円とさせていただきます。また、期末配当金は1株につき25円を予定しており、年間の配当金は1株につき50円となる見込みです。

さらに、株主優待として中間に富山県産コシヒカリ、期末にQUOカードをお贈りしております。

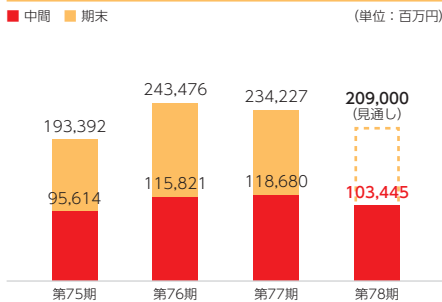
2024年11月

業績ハイライト

売上高

103,445百万円

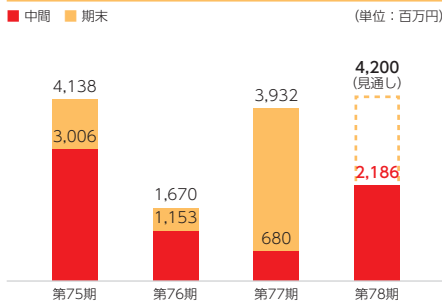
前年同期比12.8%減



営業利益

2,186百万円

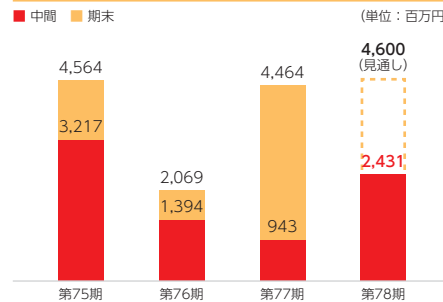
前年同期比221.0%増



経常利益

2,431百万円

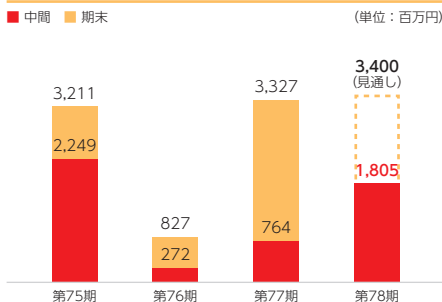
前年同期比157.7%増



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

1,805百万円

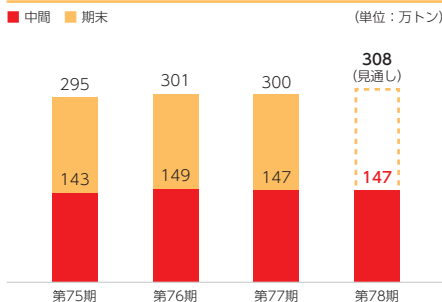
前年同期比136.2%増



畜産飼料販売量

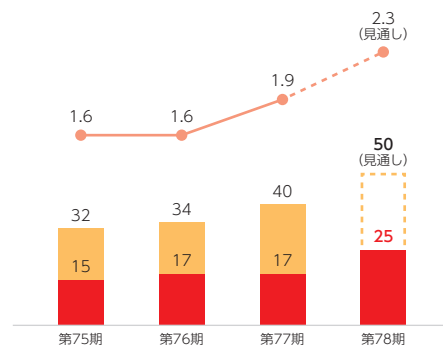
147万トン

前年同期比0.1%減



配当金・純資産配当率 (DOE)

(単位：円、%)



セグメント別概況

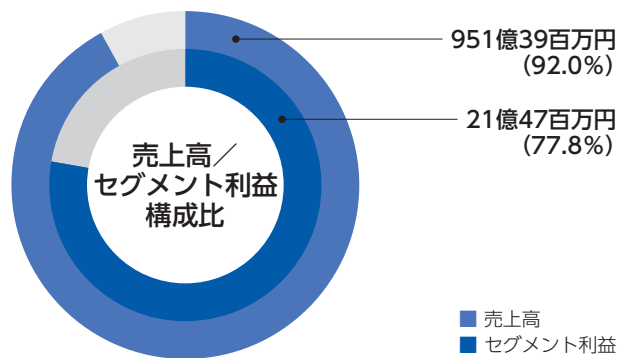
飼料セグメント - 畜水産飼料の製造販売

売上高

951億39百万円
(前年同期比14.9%減)

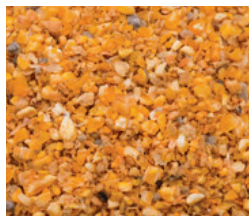
セグメント利益

21億47百万円
(前年同期比119.1%増)

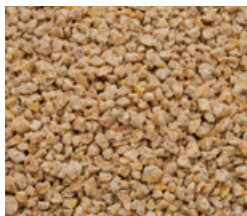


業績

売上高は、前年同期比14.9%減の951億39百万円となりました。これは、前年同期比で畜産飼料販売量がほぼ横ばいであったものの、平均販売価格が下落したことや2024年1月に連結子会社のみらい飼料株式会社を持分法適用会社に変更したことが主な要因であります。セグメント利益は、前年同期比119.1%増の21億47百万円となりました。畜産飼料は、飼料価格安定基金負担金や人件費等の増加があったものの、原料ポジション改善や差別化飼料比率の上昇による利益率向上などにより、増益となりました。また、水産飼料は、販売量増加や環境に配慮した飼料の拡販などにより利益は微増となったものの、子会社の水産物販売価格の下落を含めた利益は微減となりました。



養鶏用飼料



養豚用飼料



養牛用飼料



養魚用飼料

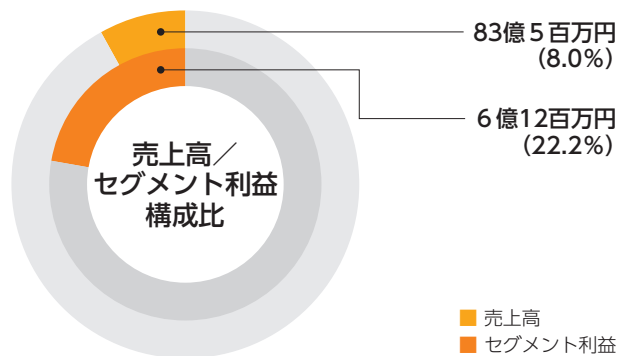
その他セグメント - 消費者向けの畜水産物の販売、畜産用機器の販売、肥料の製造販売、保険代理業、不動産賃貸

売上高

83億5百万円
(前年同期比20.5%増)

セグメント利益

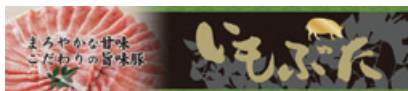
6億12百万円
(前年同期比149.1%増)



業績

売上高は、前年同期比20.5%増の83億5百万円、セグメント利益は、前年同期比149.1%増の6億12百万円となりました。増収増益の主な要因は、畜産用機器が、販売台数が前年同期を大きく上回って大幅な増益となり、鶏卵販売が、主力商品である「ごまたまご」のリニューアル等による販売強化が奏功し、販売量と利益が増加したことであります。

消費者向け畜水産物の販売



畜産用機器の販売



肥料の製造販売



保険代理業、不動産賃貸等

財務諸表

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

資産の部			負債・純資産の部		
資産合計	103,824	98,415	負債純資産合計	103,824	98,415
現金及び預金 3,006	流動資産 69,553	流動資産 63,517	流動負債 29,666	負債 38,161	負債 22,354
受取手形及び売掛金 46,047			固定負債 8,495		
その他 20,500			株主資本 62,217	株主資本 63,349	
有形・無形固定資産 25,146	固定資産 34,270	固定資産 34,898	その他の包括利益累計額 3,351	純資産 65,662	純資産 2,701
投資その他の資産 9,124			非支配株主持分 93		
	前期末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)		前期末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

前中間期 (2023年4月1日～2023年9月30日)	当中間期 (2024年4月1日～2024年9月30日)
売上高 118,680	売上高 103,445
営業利益 680	営業利益 2,186
経常利益 943	経常利益 2,431
親会社株主に 帰属する 中間純利益 764	親会社株主に 帰属する 中間純利益 1,805
	特別利益 178
	特別損失 1
	税金等調整前 中間純利益 2,609
	法人税等 814
	非支配株主に 帰属する 中間純損失 (△) △10
	売上原価 94,219
	販売費及び一般管理費 7,040
	営業外収益 267
	営業外費用 22

トピックス

『ワクワクEXPO with 第19回 食育推進全国大会』に参加しました

※第17回から毎年参加

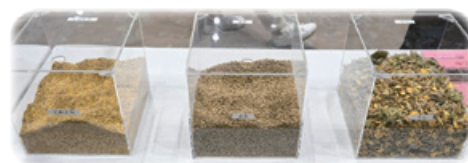
大会概要

- 日 時：2024年6月1日～2日
- 場 所：大阪南港ATCホール
- 来場者数：約30,000名
(当社ブース訪問者数：1,183名)
- テー マ：いのち輝くミライ食育



当社ブースの様子

一般の方にはあまり馴染みのない飼料について、クイズ形式で理解を深めていただきました。今後も、限りある資源を活用した当社の事業を広めていきたいと考えております。



当社は、油や小麦粉の製造時に発生する植物のしぼりかすや外皮などの食品副産物を飼料原料として積極的に使用しています。本イベントでは、これら食品副産物を有効活用した当社の飼料を展示し、幅広い世代の方に触ったり匂いを嗅いだりしていただきました。
(その他取組み：当社製品の卵の展示、「ごまたまご」を使用した焼菓子の配布 等)

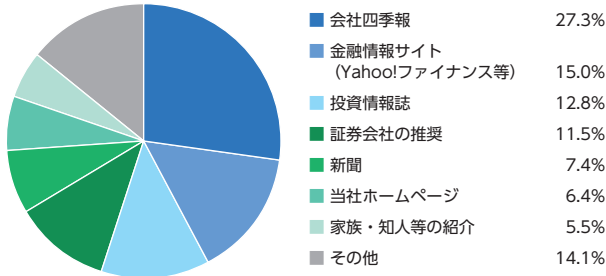
株主アンケート結果

決議ご通知に同封いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。ご回答内容の一部を紹介いたします。

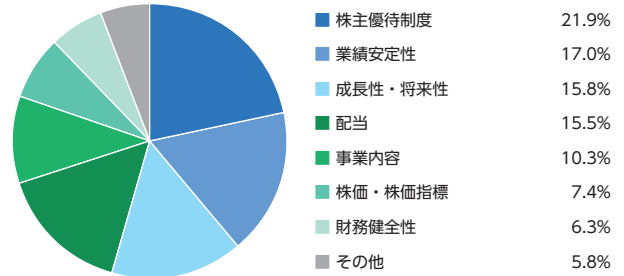
多くの株主様からいただいた声を経営に活かしてまいります。また、今後ともアンケートを継続し、双方向の対話となるよう取り組んでまいります。

- ・アンケート調査方法：ハガキ調査
- ・対象：当社株主様
- ・実施期間：2024年6月26日～7月31日
- ・回答者数：2,047名

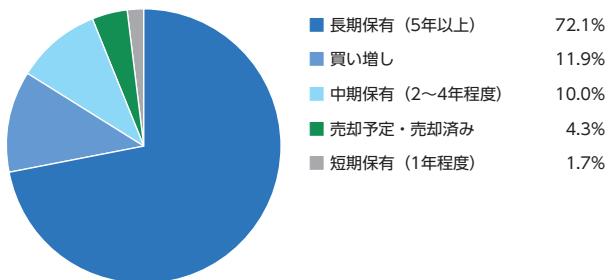
Q1.当社株式取得のきっかけ



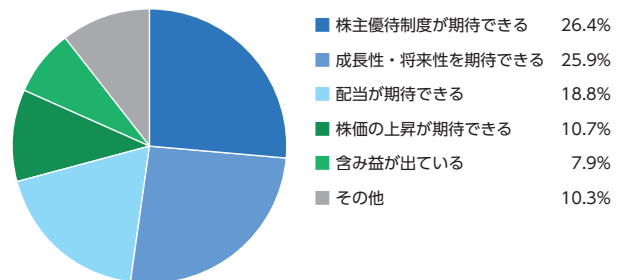
Q2.当社株式取得時に重視したこと



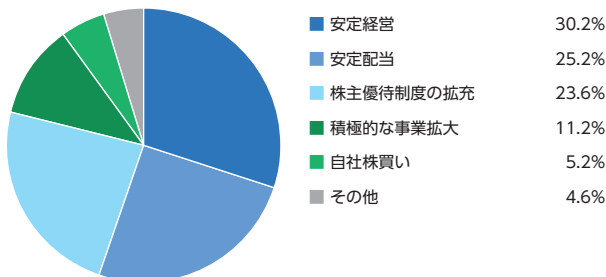
Q3.当社株式の今後の保有方針



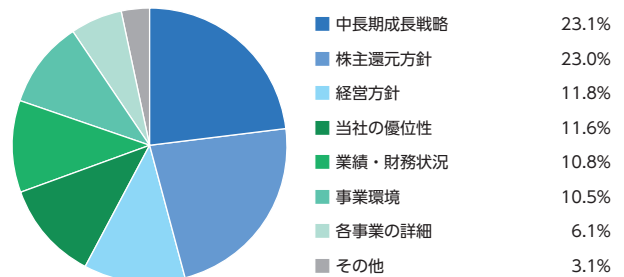
Q4.Q3の保有方針とお考えになる理由



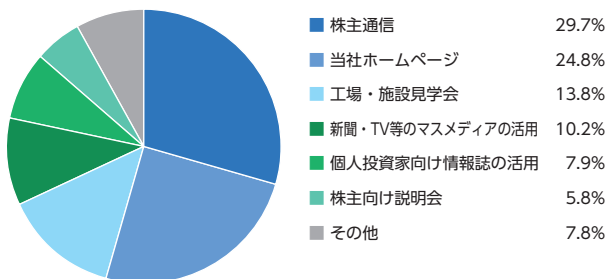
Q5.今後当社に最も期待すること



Q6.当社に関して、もっと知りたい情報



Q7.当社のIR活動で、充実を希望すること



ご意見・ご感想 (一部)

誠実な印象を持っています。優待のお米もおいしく買い増し検討中です。頑張ってください！

日本の食を支える企業として、安定した事業継続と社会貢献を期待しております。

今後も積極的な成長戦略と安定配当を継続してください。

経営陣トップの中長期的な展望における明確なメッセージをいただきたいです。

会社の役割や社会での果たす重要性をもっとPRしたほうが良い。大変重要な役割を果たしているのに社会での認知度が低い。

会社概要 (2024年9月30日現在)

会社名	中部飼料株式会社 CHUBUSHIRYO CO., LTD.
本店所在地	名古屋市中区錦二丁目13番19号
TEL	052-204-3050
設立	1949年3月24日
資本金	4,736百万円

取締役及び監査役

代表取締役社長	平野 晴 信
取締役副社長	藤田 京 一
常務取締役	伊藤 敏 宏
取締役	全 屋 和 夫
取締役	亀 井 淳
取締役	柴 田 由 紀
取締役	束 村 博 子
常勤監査役	若 山 茂 樹
監査役	柴 垣 信 二
監査役	大 橋 英 之
監査役	茂 野 祥 子

(注) 取締役亀井淳、柴田由紀及び束村博子並びに監査役柴垣信二、大橋英之及び茂野祥子は、社外役員であります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所・名古屋証券取引所 電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.chubushiryo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	30,371,908株
株主数	9,014名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,283	11.10
日本生命保険相互会社	1,486	5.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,173	3.96
豊田通商株式会社	945	3.19
日本ハム株式会社	945	3.19
平野殖産株式会社	893	3.02
株式会社三菱UFJ銀行	800	2.70
丸紅株式会社	752	2.54
東北グリーンターミナル株式会社	679	2.29
マルナカ持株会	610	2.06

(注) 持株比率については、自己株式(800,375株)を控除して算出しております。

所有者別株式比率

